

令和4年 第5回 定例会

(令和4年12月9日)

総務民生委員会委員長報告

(視察報告)

## 総務民生委員会先進地視察報告

総務民生委員会先進地視察報告を行います。

総務民生委員会は、コロナ禍により中止していた行政視察を3年ぶりに再開し、去る10月28日に邑智郡邑南町に行きまいりました。

まず午前中に「子育て支援、人口減少対策について」、地域未来課課長から説明を受けました。皆さんご承知のとおり、邑南町では2011年度に「日本一の子育て村構想」を策定され、2020年度までの10年間に「地域で子育て」をキーワードに住民・地域・行政が一体となった取り組みを意識し、様々な事業展開を実施されました。目玉施策として「0歳から中学校卒業までの医療費無料」、「保育料を所得制限なしで第2子以降完全無料化」、「完全給食制の実施」そして「24時間救急受付などの安心な医療体制の確立」があげられます。また、その他にも多様な連携による木育の推進、子育ての困りごとへの相談窓口の設置や各地域がまちづくりのコンペを実施して、補助金を得られるような活動への支援などの説明がありました。

これらの施策の成果として、島根県中山間地域研究センターとの共同研究により、人口減少はつづいていますが、18歳未満の全人口に占める割合が横ばいであり、30～44歳と0～9歳が増加、すなわち子育て世代が増加したことが分かったことなど、しっかりと分析がなされておりました。

今後の課題として、出産直後と進学時の転出が顕著であることや一度は町外に出てもまた戻って住みたいといったアンケート結果から、将来もこのまちで住み続けたいと思える子育て・子育て環境と住み続けられるまちを作っていくことが課題とのことでありました。

次に午後から、「矢上高等学校に関することについて」特に寮への支援について、説明を受けました。邑南町は、「高校がない町には若い人は住まない」との危機意識のもと、町として様々な施策を実施しています。特に寮については、町が研修施設としての位置づけで、県立の学生寮に加えて2つの寮を設置・運営を行っております。また、新型コロナウイルス感染症対策として4人部屋から2人部屋にすることなどの理由から過疎債を財源に新たな寮を建設される予定であります。

その他にも、通学支援や、現役東大生による無料オンライン補習塾、そして高校魅力化コンソーシアム設立による取り組みなどがあります。その結果、令和2年度以降3年連続志願者倍率1.0倍以上を実現されています。

視察後の委員からの感想として、「町役場の各所管はすべて子育てに関係があり、横断的に構想を周知して取り組むことが大事であることがわかった」や「子ども・子育てを軸としてまちづくりが進められ、まちの存続と町民の笑顔が両立されている」、「小中学校を統合しない方針により、地域の存続につながっていることがわかった」、

また、「高校支援は、小さい町だからこそできることもある。江津市さんは難しいかもとの言葉は印象的だった」などでありました。

終わりに、今回の視察により今後の江津市の人口減少対策、子育て支援などを考えるうえで非常に参考になったことから、機会を見て提言していきたいことを申し述べておきます。

以上報告を終わります。